

学びの拠点としての学校づくり ～ボランティアが運営する学習塾もやっています！～

新潟県新潟市

活動名

山潟小学校学校支援地域本部

関係する学校

山潟小学校

活動区分	※ H26 年度の実績（補助の有無については H27 年度の状況）						
土曜日の教育活動	コーディネーター	子供の平均参加人数	開始年度	国庫補助	学習支援	ICT活用	企業・NPOとの連携
学校支援地域本部	コーディネーター数	ボランティア登録数	開始年度	国庫補助	学習支援	ICT活用	企業・NPOとの連携
放課後子供教室	コーディネーター数	子供の平均参加人数	年間開催日数	国庫補助	学習支援	ICT活用	企業・NPOとの連携
	実施場所				開始年度	放課後児童クラブとの連携	
体育館、家庭科室、グラウンド、図書館、視聴覚室、ボランティア室					16 年度	連携なし	
コミュニティスクール	指定日				委員数	児童生徒数	学級数

本事業に取り組み7年目。「子供が多くの人に見守られ、必要な支援で学習がより楽しくよく分かる学校」「保護者や地域住民が趣味・特技、興味・関心を生かし支援ができる学校」を目指し取組を拡大。

- 各教科・総合的な学習における日常のゲストティーチャーやボランティア参加（活動日数200日、年間のべ4,500人を超える実績）。
- 地域住民・保護者の学びの場として、「朗読会やブックトーク」「親だって英語！」等の講座を実施し、その成果をボランティアとして子供に還元。
- ボランティア事務局の運営等、主体的な組織体制を構築し、参加者に主体性をもたせつつ、持続を可能にする事業運営。

特徴

【特徴的な活動内容】

- 1 ボランティアが主体となって子供とかかわり運営する学習支援 ～「山潟小学習塾」～
 - ・学習支援ボランティアがプリントの提供、学習の見守り、採点する活動。
 - ・児童は宿題とは別の自主学習として取り組み、保護者はボランティア協力。
- 2 学校に楽しい活動や居場所がいつぱいの放課後子供教室 ～山潟小ふれあいスクール～
 - ・水曜日の放課後、土曜日の午前に実施。
 - ・毎回楽しい手芸や工作を体験。特に土曜日の実施時は地域から物作りの専門家を招へいし、多数の子供が参加。
- 3 世代を超え地域住民が運営、交流するイベントの実施～文化の祭典「地域ふれあいフェスタ」～
 - ・秋の一日、取組の発表、物作り・遊びや餅つき大会等を実施。
 - ・子供や保護者・地域住民が共に活動し、交流する機会として定着。

【実施に当たっての工夫】

- 学校を拠点に各種連携を計画・発信していくために、学校内にボランティア事務局を設置し11人の事務局員が活動。
 - ・毎日、地域教育コーディネーターを核として6～7人の事務局員が役割分担しながら常駐。
 - ・SNSを利用した情報交換と茶話会、交流会をととしたネットワークづくり。
- 関係者が互いに有用感をもつ連携の推進
 - ・各専門学校の学生を中心に教材園の土作りや野菜の育て方、運動に関わる技術指導、クラブ活動補助等の活動。

事業を実施して

- 地域和学校として、子供をみんなで支えより良く育てようとする意識が醸成。
- ・学校教育ビジョンの課題解決に地域・保護者が関わりながら、共通理解のもと一貫した取組。
- ・小学校を卒業した中学生や高校生、大学生のボランティア増加に伴う世代交代の意識の醸成。
- ・ボランティアから「学校に来ていることの必要性や自身の学び、意識の向上につながっている。」「ボランティア活動は、続けていくことでたくさんの発見や喜び、充実感が味わえる。」との反応。

その他

- 個別に支援が必要な児童の学習・生活補助等のための学習支援ボランティア登録者が39人。
- 連携企業、NPO等：・第四銀行・鳥屋野潟漁業協同組合・視覚障害者福祉協会・新潟農業パイオ専門学校・新潟高度情報専門学校ほか
- 新潟高度情報専門学校教官によるICT教育支援（授業における機器活用支援、クラブ活動におけるプログラミング体験ほか）



保護者による読み聞かせ



大根づくり（専門学校と連携）